

# 第3回札幌市公共交通協議会 説明資料

2023年（令和5年）7月20日（木）

# 目次

1. 第2回協議会までの振り返り . . . . . P2
2. 市民意見収集の結果 . . . . . P7
3. 札幌市の公共交通の課題整理 . . . . . P17
4. 目指すべき将来像・基本方針 . . . . . P18
5. 今後の検討・スケジュール . . . . . P21

# 1. 第2回協議会までの振り返り

## ■これまでの検討の流れ

（令和5年1月24日）  
第1回協議会

### ①地域公共交通計画の位置づけ

- ・地域公共交通計画と北海道、地域（さっぽろ連携中枢都市圏等）、札幌市の各種上位・関連計画等との関係性を整理

### ②本市交通計画における公共交通の位置づけ

- ・上位計画にあたる札幌市総合交通計画（改定版）における公共交通NWの整理状況を再確認

### ③本市公共交通を取り巻く状況

- ・人口推移、公共交通の利用者数の推移、第二種免許保有状況等について整理

### 【第1回協議会での確認事項】

地域公共交通計画策定における議論の方向性

- ・公共交通の利便性向上・利用促進等をどのように進めていくか
- ・バスNWが担う役割を今後どのように維持していくか
- ・そのために各公共交通機関、利用者、自治体がどのような役割を担っていくか

（令和5年3月9日）  
第2回協議会

### ①公共交通の利用状況

- ・コロナ禍における公共交通の利用者数の推移や行動様式の変化について整理

### ②地域住民の移動の実態・ニーズ

- ・公共交通以外も含む市民の移動の実態・ニーズ（通勤・通学先、自動車利用状況、免許保有状況、外出率等）について整理

### ③公共交通の運行状況

- ・バス、タクシー、路面電車の運行状況（便数、収支状況、運転手の状況等）について整理

### ④現状の問題点や今後の懸念点

- ・①～③を踏まえ、札幌市の公共交通に関する問題点や懸念点について整理（詳細は次頁）

市民意見収集の結果を受けて、計画で対応すべき地域公共交通の課題を整理することとした

### ⑤取り組みの実施状況

- ・札幌市の公共交通に関する現状の取り組みについて参考情報として共有

# 1. 第2回協議会までの振り返り

## ■統計データ等より整理した「現状の問題点や今後の懸念点」

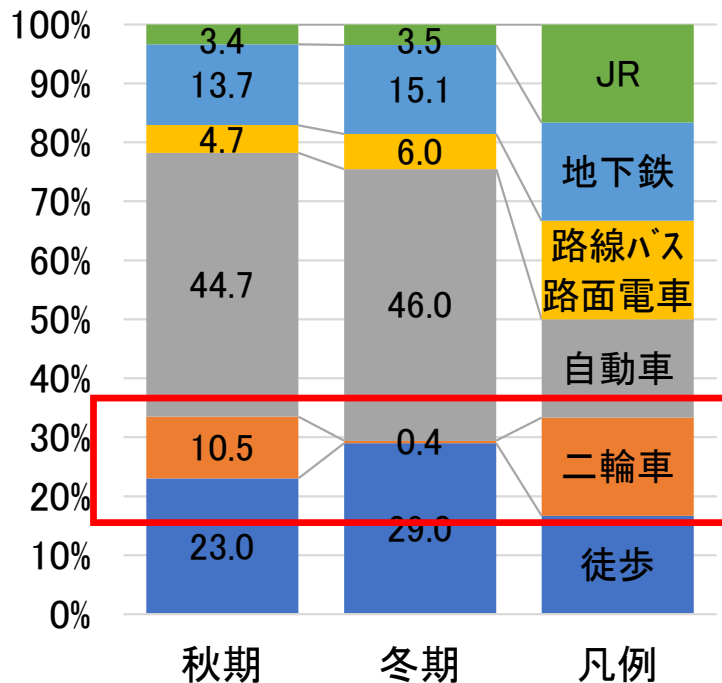
| 項目           | 詳細内容                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 乗客数の減少       | <ul style="list-style-type: none"><li>● コロナ禍において公共交通の乗客数が大きく減少</li><li>● 行動様式の変化により、乗客数がコロナ禍前の水準に戻るかは不透明</li><li>● コロナ禍において全国的に乗合バスの収支比率は悪化</li><li>● 路線維持のための札幌市補助金も年々増加</li><li>● タクシー、路面電車も、コロナ禍による経営への影響が大きい</li></ul>                                |
| 多様な移動ニーズへの対応 | <ul style="list-style-type: none"><li>● バスの運行時間帯や運行頻度、待合環境に関して利用者の満足度が低い</li><li>● 高齢者数、高齢化率は今後も増加が続く見通し</li><li>● 高齢者の運転免許返納や、若年層の車離れなどによる公共交通のニーズが想定される</li><li>● 通勤時間帯や、路面電車が運行する都心周辺部など、需要密度が特に高い時間帯・エリアが存在</li></ul>                                 |
| 運転手不足        | <ul style="list-style-type: none"><li>● 市内は広大なエリアを多数のバス路線で運行し、移動手段を確保</li><li>● バス運転手は年々減少・高齢化が進んでおり、運行便数も減少</li><li>● タクシー運転手も同様の状況</li><li>● 第二種運転免許保有者数は減少している</li><li>● 生産年齢人口の減少もあり、業種問わず人材確保が課題</li><li>● バス便数は時間帯ごとの需要に高低差があり、運転手の必要数に影響</li></ul> |

# 1. 第2回協議会までの振り返り

## ■ 前回協議会の指摘事項①：季節による移動の差について

▶ 冬季（雪がある時期）においては、特に自転車・二輪車による移動が、他の移動手段に比べ大きく減少する傾向が見られた。

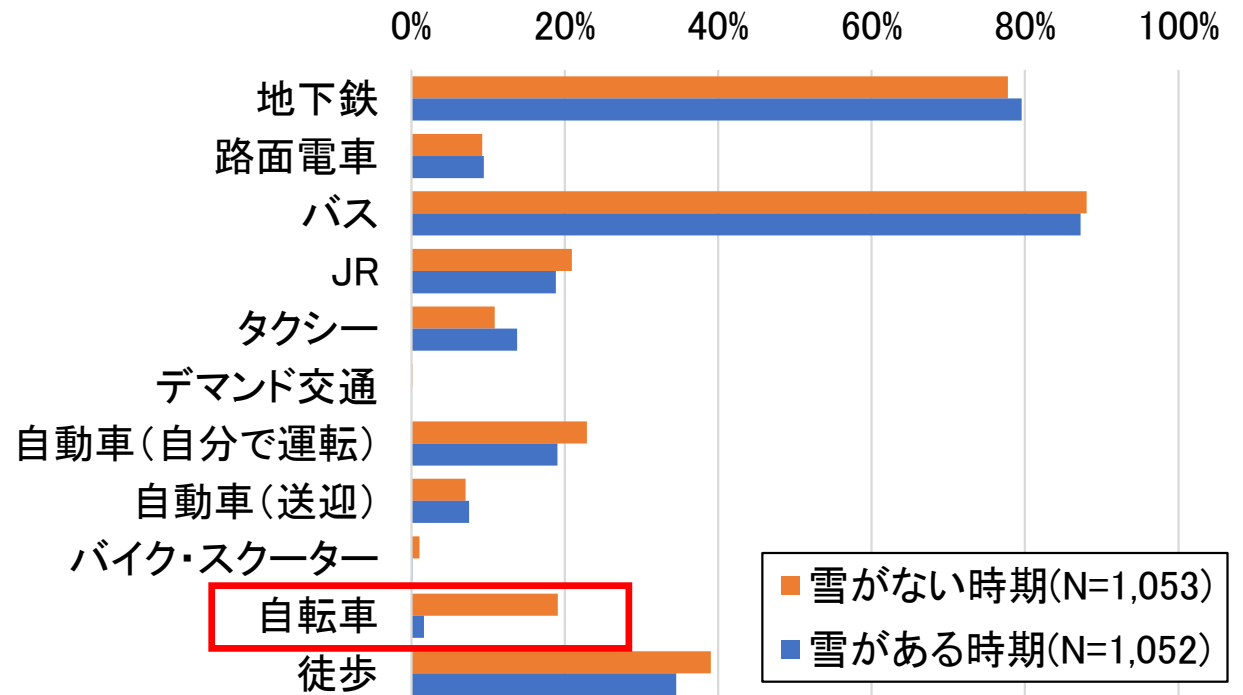
○札幌市における秋期・冬期における移動における主な利用手段の比率



資料：第4回道央都市圏P T調査（2006・2007）

○雪の有無による市内移動手段の利用率の差（複数回答可）

※バス交通に関する調査における回答のため、バスの比率が高い



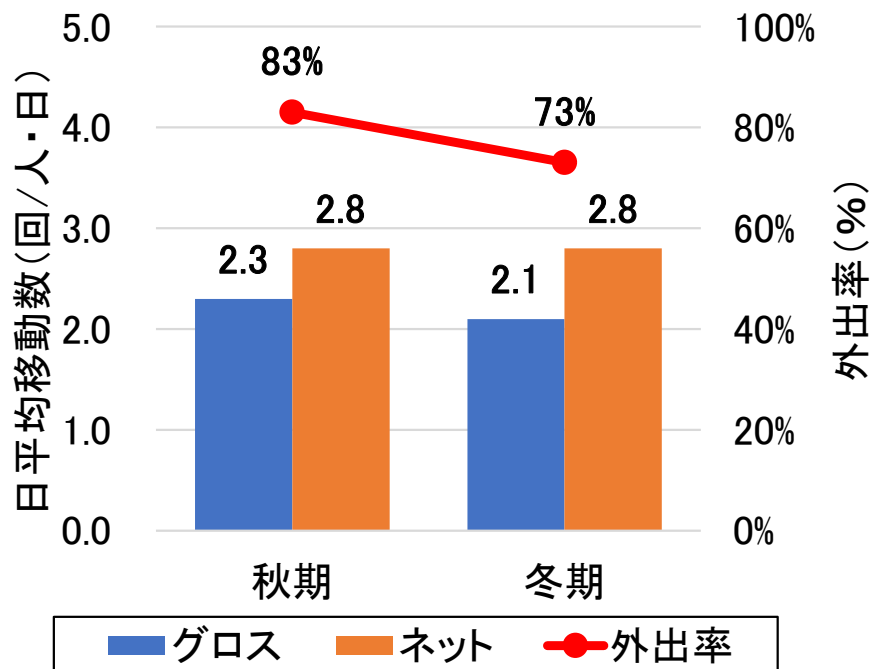
資料：札幌市のバス交通に関する市民意見調査（2023）

# 1. 第2回協議会までの振り返り

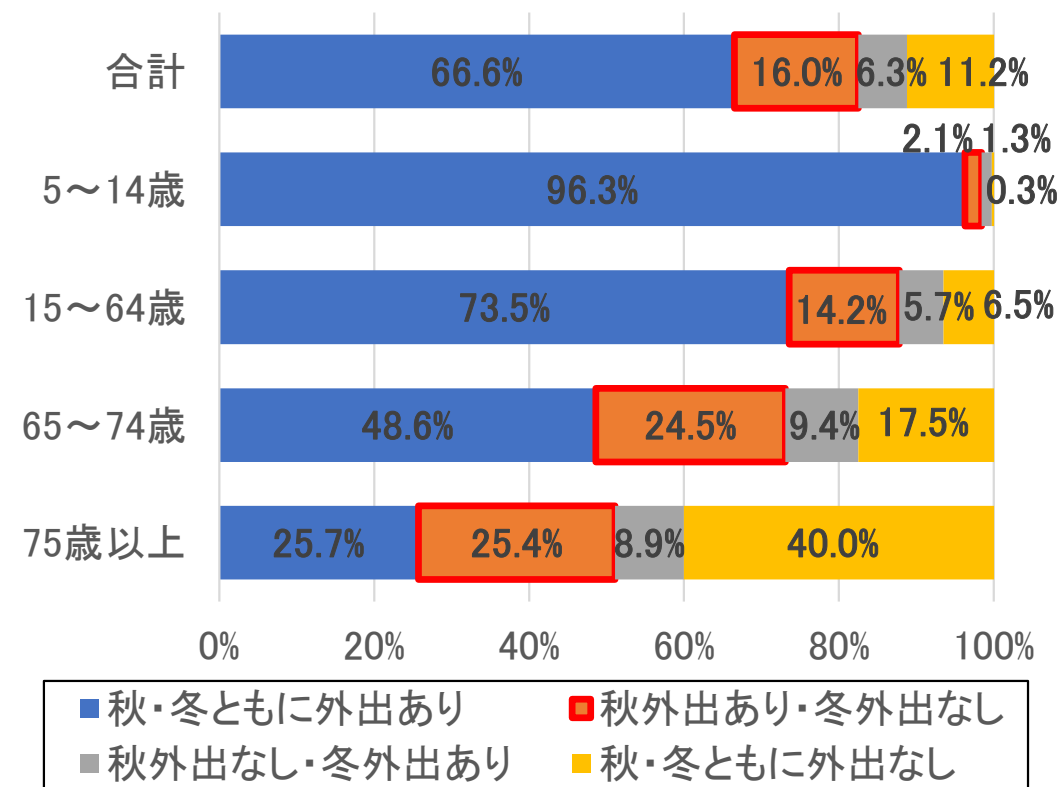
## ■ 前回協議会の指摘事項①：季節による移動の差について

- 秋期に比べ、冬期は外出率が低下する傾向にある
- 道央都市圏全体では、秋と比較すると16%の人が冬期に外出を控えている
- 年齢が高くなるにつれ、冬期に外出しない人の割合が増加している

○都市圏の平均移動数（グロス・ネット）、  
外出率の秋冬比較



○年齢階層別の秋・冬外出パターン別※の構成比



※グロス：地域に居住する全ての人を対象にした平均移動数  
 ネット：地域に居住する人のうち、外出した人のみを対象とした平均移動数  
 外出率：地域に居住する人のうち、調査日に外出した人の割合

※同一サンプルにおける秋期及び冬期の各調査日の外出の有無より整理

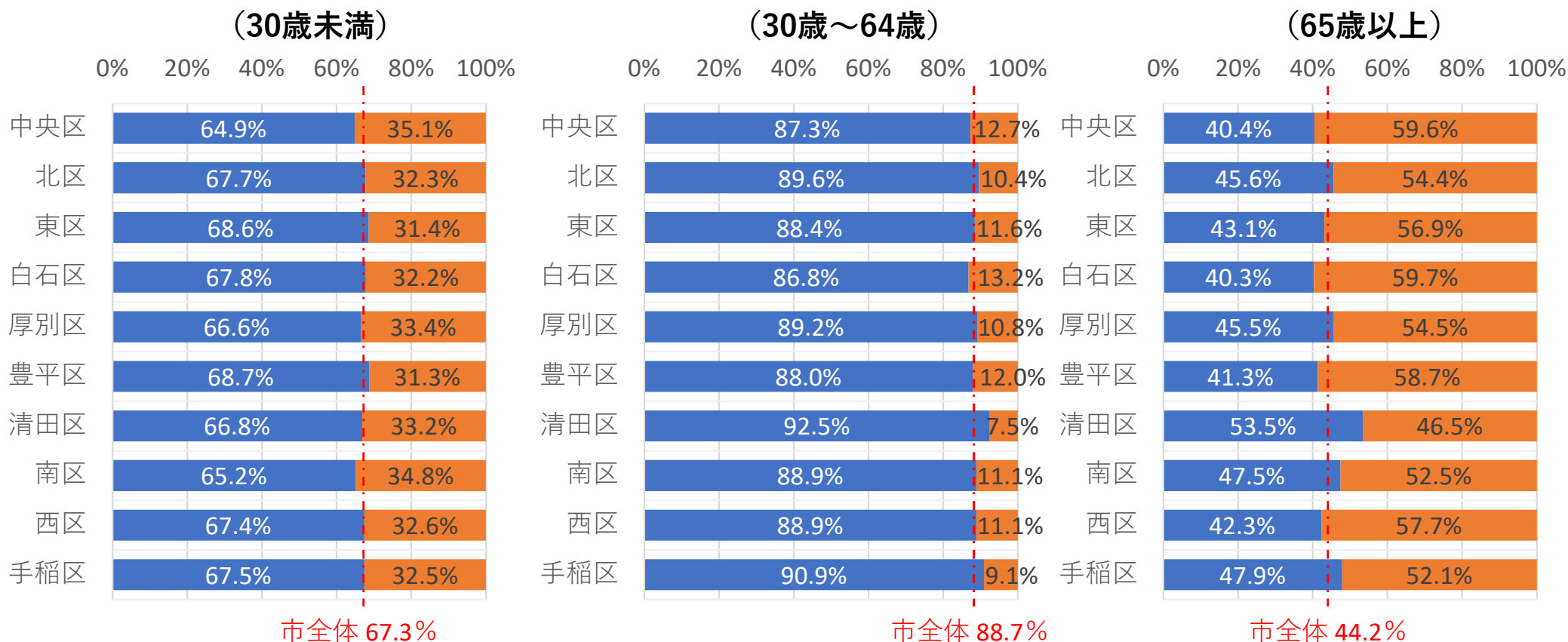
# 1. 第2回協議会までの振り返り

## ■ 前回協議会の指摘事項②：区別の自動車利用の状況について

- 運転免許保有率を区別・年代別に見たとき、特に65歳以上においては他の年代に比べ各区での差が大きくなる傾向がある

### ○ 区別運転免許保有状況

■ 運転免許保有あり ■ 運転免許保有なし





## 2. 市民意見収集の結果

- ▶ 前回の協議会で示した本市のバス交通の現状・課題を踏まえ、バス交通に関する市民意見調査を実施し、1,056票の回答を得た
- ▶ 市内各地区の居住者、幅広い年代・職業の市民より回答を得た

### ■市民意見収集の実施結果

#### 【意見募集期間】

2023/4/24～5/23

#### 【配布方法】

市役所、各区役所、まちづくりセンター、バス・路面電車内、バスターミナル・営業所、地下鉄駅等  
※広報さっぽろ、新聞等で周知

#### 【設問内容】

- ・右図の通り（無記名式）

#### 【回答方法】

- ・郵送、ファクス、Eメール、持参及びホームページ

#### 【回収回答数】

- ・1,056票
  - HPやEメール67%、郵送等33%

●<ご年齢>該当する番号に○をつけてください。  
①19歳以下 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70歳以上

●<居住地>該当する番号に○をつけてください。  
①中央区 ②北区 ③東区 ④白石区 ⑤厚別区 ⑥豊平区  
⑦清田区 ⑧南区 ⑨西区 ⑩手稲区 ⑪札幌市外

●<ご職業>該当する番号に○をつけてください。  
①会社員 ②経営者・役員 ③公務員 ④自営業 ⑤自由業  
⑥パート・アルバイト ⑦主婦・主夫 ⑧学生 ⑨無職 ⑩その他

●<普段利用される市内移動手段>該当する番号を記載してください。(複数回答可)  
①地下鉄 ②路面電車 ③バス ④JR ⑤タクシー ⑥デマンド交通  
⑦自動車(自分で運転) ⑧自動車(送迎) ⑨バイク・スクーター ⑩自転車 ⑪徒歩 ⑫その他

雪がない時期  雪がある時期

●札幌市のバス交通に関するご意見

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

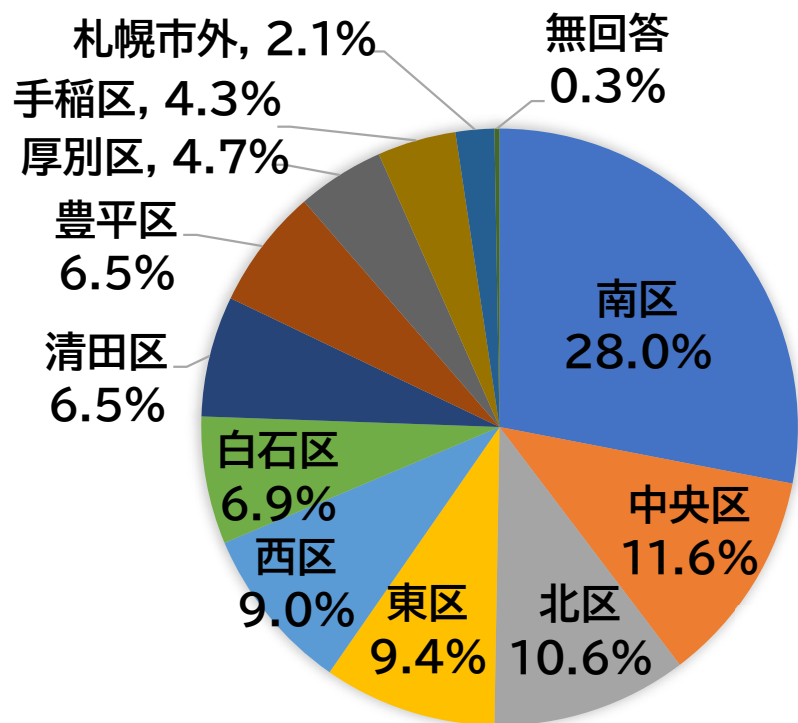
【注】ご意見は、太枠内に記載いただきますようお願いいたします。



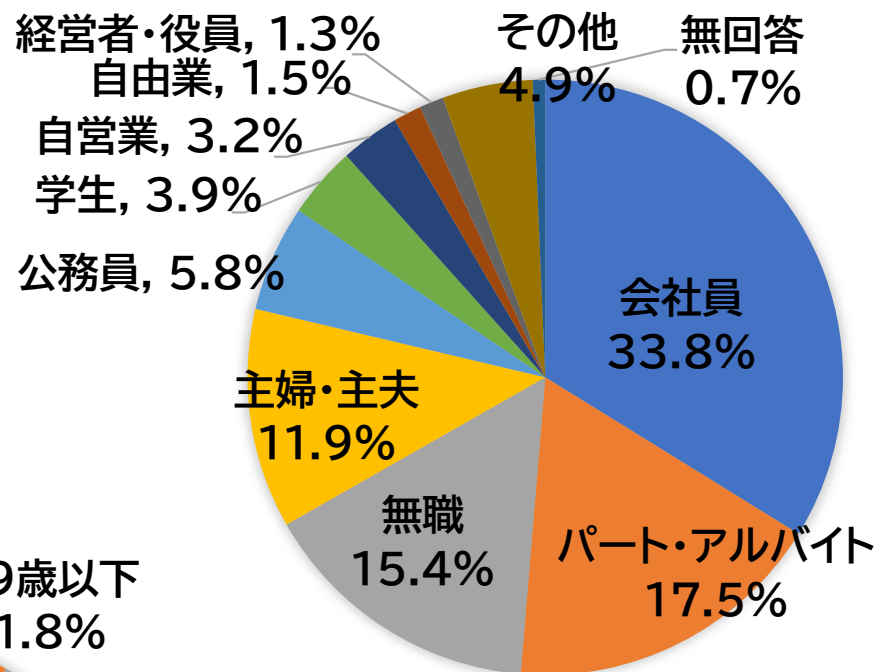
## 2. 市民意見収集の結果

### ■市民意見収集の実施結果

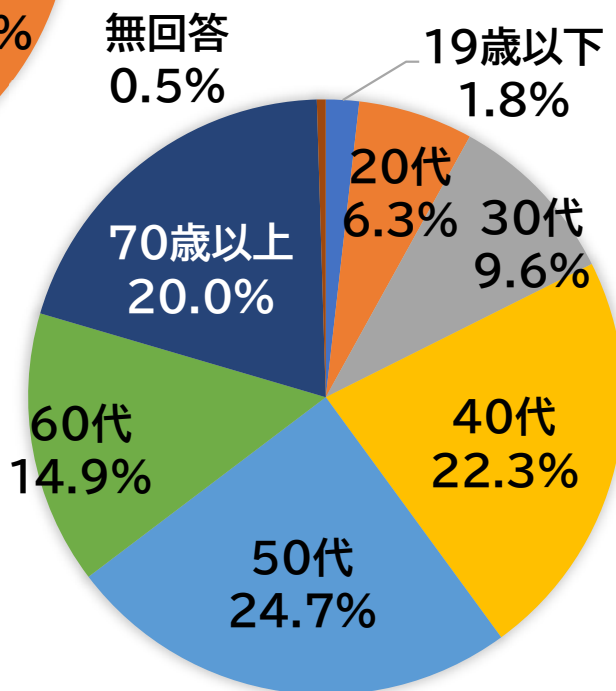
○回答者の居住地区



○回答者の職業



○回答者の年代

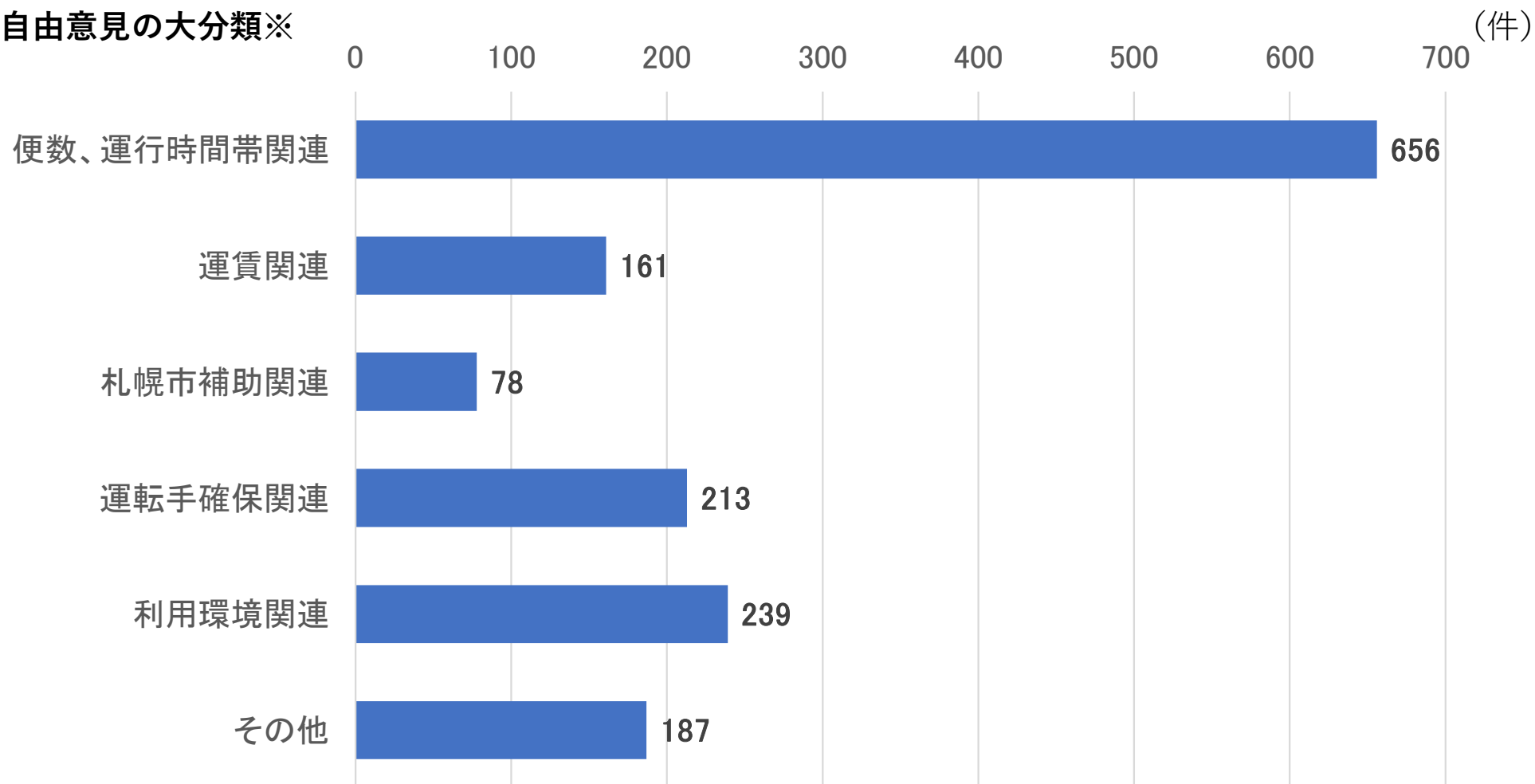


## 2. 市民意見収集の結果

- 自由回答で回収したバス交通に関する意見について、大分類として「便数、運行時間帯関連」、「運賃関連」、「札幌市補助関連」、「運転手確保関連」、「利用環境関連」が主な意見である

### ■市民意見収集の実施結果

○自由意見の大分類※



※複数の分類に該当する意見あり

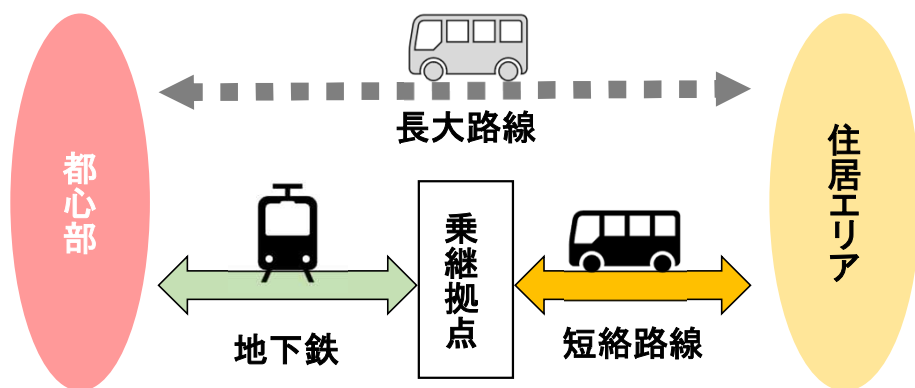
## 2. 市民意見収集の結果

＜バスの便数、運行時間帯に関する意見＞

- 減便の影響による利便性の低下や利用減少についての意見、増便や現状便数の維持、廃止便の復活、最終便の繰り下げの要望が多い
- 一方で、運転手不足や収支率の悪化を踏まえ、利用者の少ない時間帯の減便、路線の短絡化等による効率化の必要性について意見あり
- その他、乗り継ぎにおける接続性向上やパターンダイヤ等の利便性向上についても意見あり

### ■効率化・利便性向上の取組例

○路線の短絡化イメージ



短絡化することで運行効率が改善  
(運転手不足への対応)

○パターンダイヤイメージ

■通常のダイヤ

|    |    |    |
|----|----|----|
| 10 | 10 | 44 |
| 11 | 07 | 39 |
| 12 | 17 | 45 |
| 13 | 12 | 36 |
| 14 | 24 | 53 |

■パターンダイヤ

|    |    |    |
|----|----|----|
| 10 | 00 | 30 |
| 11 | 00 | 30 |
| 12 | 00 | 30 |
| 13 | 00 | 30 |
| 14 | 00 | 30 |

出発時刻の固定で利用者の利便性が向上する

## 2. 市民意見収集の結果

### ＜運賃に関する意見＞

- 市の補助拡充等による運賃の値下げを要望する意見がある一方で、路線維持・利便性改善等に向けて必要であれば受益者負担として運賃の値上げを許容するという意見あり
- また、特殊区間制・対キロ区間制などの運賃制度や時間帯による変動運賃、割引制度の見直しや導入についても多様な意見あり

### ■札幌市内のバス運賃制度

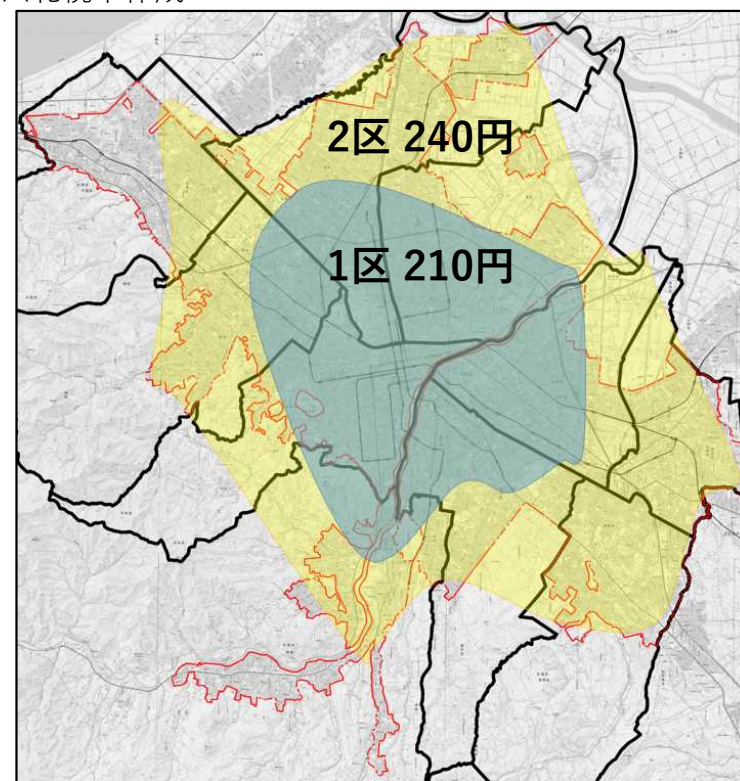
| 主な種類   | 概要                                      |
|--------|-----------------------------------------|
| 対キロ区間制 | 基準賃率に基づきキロ程に応じた上限額を区間停留所ごとに設定する形態       |
| 特殊区間制  | 区間を概ね2km以上で等間隔に設定し、利用した区間の数毎に運賃が加算される形態 |

札幌市は「特殊区間制運賃」と「対キロ区間制運賃」の併用により、利用区間によって、同じ乗車距離であっても運賃に差異が存在している。

市内バス路線の運賃制度はバス会社毎に基準賃率や最低運賃、定期制度等に違いがある。

### ○【参考】都心から見た特殊区間制エリア概観

※札幌市作成



## 2. 市民意見収集の結果

＜札幌市のバス補助に関する意見＞

- ▶ バスネットワークの維持や利便性改善、運転手の待遇改善等を図るため、札幌市の補助増額を望む意見がある

### ■各種補助制度

路線維持のため、系統ごとの欠損額（経常費用-経常収益）に対して支援

| 分類  | 対象                                                            | 役割分担           |
|-----|---------------------------------------------------------------|----------------|
| 国   | ■地域公共交通確保維持改善事業費補助（地域間幹線系統補助）<br>複数市町村にまたがり、一定の輸送量・運行回数がある系統  | 幹線・広域交通        |
| 北海道 | ■北海道地域間幹線系統確保維持事業費補助<br>国の地域間幹線系統補助の対象系統                      | 幹線・広域交通        |
| 札幌市 | ■札幌市乗合バス路線維持補助<br>市内完結系統（起点・終点が札幌市内）で、一定の輸送量・運行回数があり、代替性のない系統 | 生活交通<br>(市内完結) |

※札幌市内を運行する系統が補助対象となっているものを記載

## 2. 市民意見収集の結果

### ＜運転手の確保に関する意見＞

- 運転手の確保に向けた、労働環境等の待遇改善（賃金増、長時間労働の解消、休日増、柔軟な働き方、苦情対応等）の必要性や新規雇用に向けたPRや育成環境の改善の必要性について意見が多い

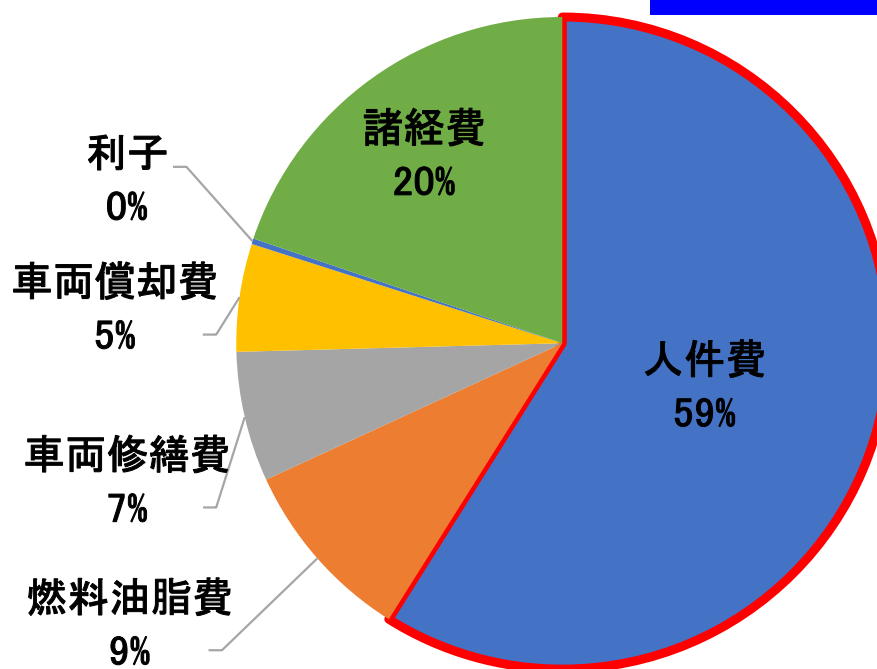
### ■改善基準告示の改正



2024年4月の改善基準告示改正により、勤務間インターバルが延長

### ■実走行1キロ当たりの輸送原価内訳（全国平均）

人件費が輸送原価の半分以上を占める





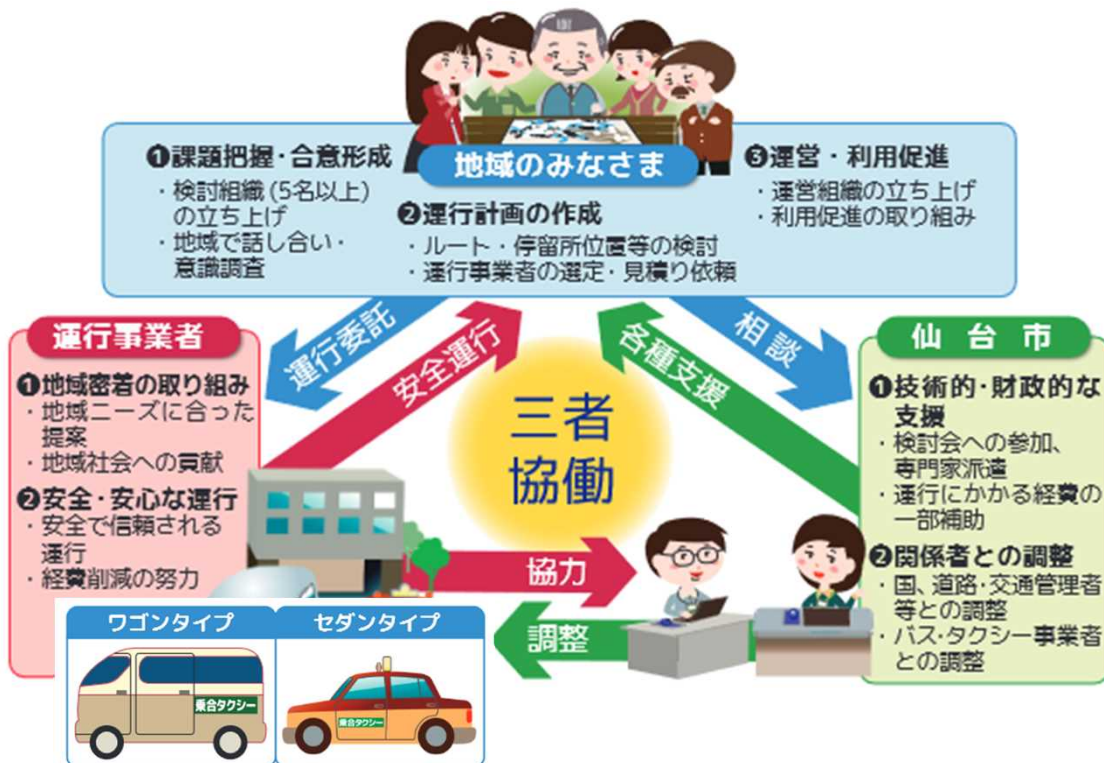
# 2. 市民意見収集の結果

＜運転手不足への対応に関する意見＞

▶ 小型代替交通や自動運転の導入等を望む意見もある

## ■ 小型代替交通導入の例

○ 仙台市「みんなで育てる地域交通乗り乗り事業」



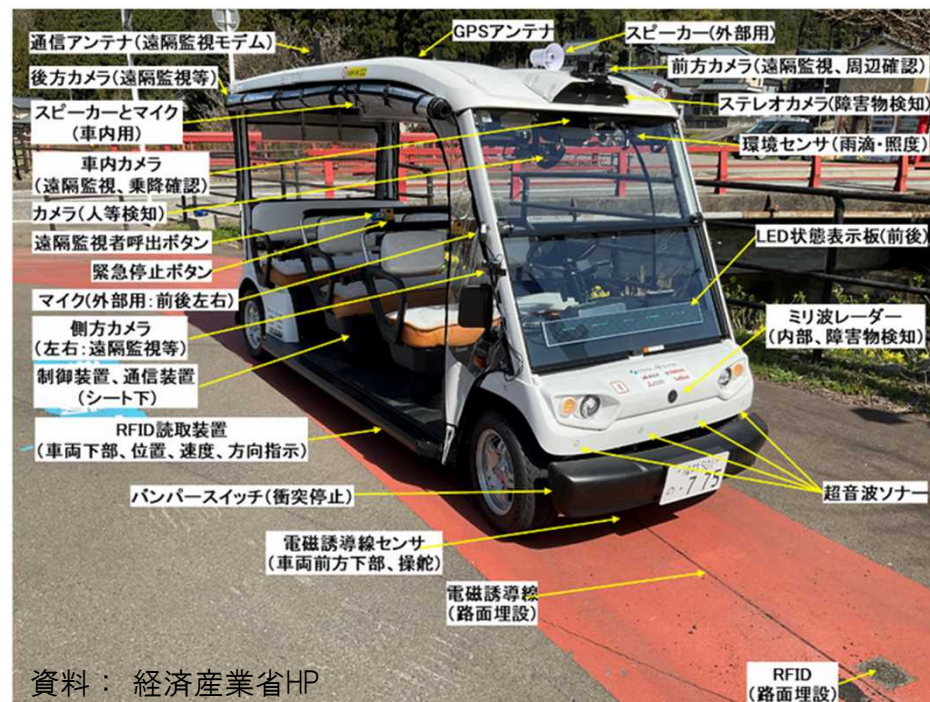
地域が主体となりながら三者協働※で実施しており、需要に応じた運行方法、車両規模（ワゴンタイプ・セダンタイプ等）で効率的に運行している。

※市は運行計画策定の支援、運行経費・高齢者等割引運賃の補助を実施

## ■ 自動運転の状況

○ 福井県永平寺町におけるレベル4※の実証実験

※特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、運転操作の全てを自動運転装置が代替



道内でも雪道走行の実験が行われているが、雪道は路面状態やセンサー検知等に難しさがあり、実装まで時間を要すると考えられる。



## 2. 市民意見収集の結果

### ＜利用環境に関する意見＞

- 車内の設備・環境について、ノンステップバスの導入や車内温度の適正化、観光客の利用が多い路線や、通勤・通学時間帯等における車内混雑の緩和の要望あり
- 待合環境について、屋根・囲い・ベンチ等の施設設置や電光掲示板・2次元コード等の情報提供に関する機材の設置、バス停周辺の除雪や清掃等の要望あり
- 走行環境について、バス運行経路における道路渋滞への対応や除雪の要望あり

### ■利用環境改善の取組例

#### ○デジタルサイネージの設置



#### ○運行情報取得用2次元コードの設置



## 2. 市民意見収集の結果

### <その他の意見>

- ▶ 公共交通に関する住民の理解醸成に向けた広報の必要、共同経営の検討の必要、募金による運行補助の可能性、EV車両導入による環境配慮等について意見あり
- ▶ また、バスの運行や運転手に対する感謝も多くあり

### ■共同経営のイメージ

#### ○共同・分担運行によるネットワーク再編



#### ○等間隔運行・パターンダイヤ

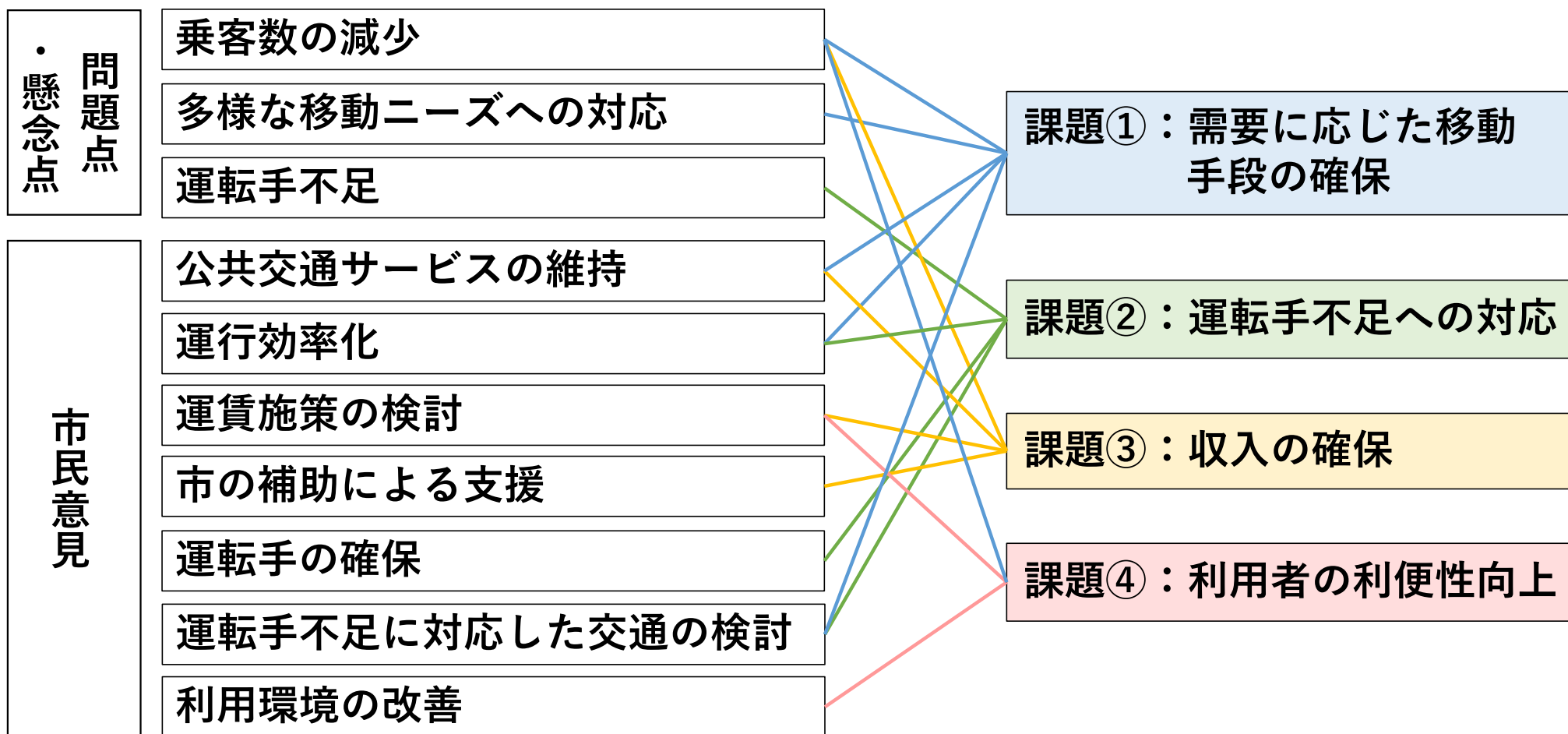


### ■バス運行・運転手に対する感謝（抜粋）

- 雨の日も晴れの日も、大雪の日も、渋滞の日も、定時運行 & 安全運転をしていただきありがとうございます。
- わたしの家には車がありません。毎日通勤で公共交通機関を利用して、優しいバスの運転手さんに行ってらっしゃいと言われたら今日も一日頑張ろうと朝から元気を頂きます。
- バスを毎日利用しています。バス会社さんはいつも努力し、バスの冬期間の遅れも気になりません。運転手さんは気配りの方が多く、降りる際も、自転車が来ているから気をつけるようにと言葉を発してくださりありがたいです。
- いつもバスを利用させて頂いております。本当にありがとうございます。身近にあるバスは私達の足と同じです。運賃が少し高くなったとしても利用させて頂きたいと思えます。運転手さんの御苦勞は身にしみて感じております。年寄りも多くなり、通勤に利用されている方も多く見られます。どうぞ持続可能で有ります様をお願い致します。

# 3. 札幌市の公共交通の課題整理

▶ 札幌市の「現状の問題点や今後の懸念点」と「市民意見収集の結果」を踏まえ、地域公共交通計画において検討すべき札幌市における公共交通の課題を整理



# 3. 札幌市の公共交通の課題整理

## 課題①：需要に応じた移動手段の確保

公共交通ネットワークを持続可能なものとするため、現状の利用実態や将来動向を踏まえながら、市民や来街者の多様な移動需要に対応した交通体系を確保していく必要がある。

## 課題②：運転手不足への対応

効率的・効果的な公共交通ネットワークの構築や運転手確保の取組を進め、運転手不足に対応していく必要がある。

## 課題③：収入の確保

公共交通サービスを維持していくため、運送収入および行政からの支援等を通じ、適切な収入を確保していく必要がある。

## 課題④：利便性向上と利用促進

公共交通をより多くの人ができる・しやすくなるよう、利便性向上を図り、利用を促進していく必要がある。

## 4. 目指すべき将来像・基本方針

- 上位・関連計画や現状・課題の整理結果を踏まえ、札幌市の地域公共交通の目指すべき将来像案を以下の通り設定

### ■地域公共交通の目指すべき将来像（案）

市民・事業者・行政の協働でつくる、まちと暮らしを支える持続可能な公共交通ネットワーク

- 札幌市は、上位関連計画において、都市交通の方向性を以下の通り定めている。
  - ・ 持続可能な交通ネットワークの確立
  - ・ 地域特性に応じた交通体系の構築
  - ・ 市民・企業、交通事業者、行政の連携
- 地域公共交通においては、市民・企業、交通事業者、行政のそれぞれが協働を図ることで、運転手不足や収入確保等の課題に取り組み、移動ニーズを支える公共交通ネットワークを継続的に維持・確保していくことが求められていることから、将来像を上記の通り設定した。



## 4. 目指すべき将来像・基本方針

- ▶ 札幌市の地域公共交通の目指すべき将来像の実現に向け、課題を解決するための基本方針（案）を以下の通り設定

### 基本方針①：効率的・効果的な公共交通ネットワークの構築

課題①、②、④に対応

多様化する需要や運転手不足に対応しながら公共交通サービスを確保していくため、地域の実情を踏まえながら、各公共交通機関が連携し、バス路線再編や代替交通の導入等により、効率的・効果的な公共交通ネットワークの構築を進める。

### 基本方針②：持続可能で安定した運営体制の確立

課題②、③に対応

将来にわたって持続可能な公共交通サービスを確保するため、交通事業者・利用者・行政のそれぞれが収入確保や運転手不足への対応に向けて必要な役割を分担し、安定した運営体制の確立を目指す。

### 基本方針③：利用環境の向上等による利用促進

課題①、③、④に対応

公共交通の維持や環境への配慮の観点から、車両・施設・サービス等の利便性を向上するとともに、公共交通の利用に関する意識醸成を図ることで、利用を促進する。

# 5. 今後の検討・スケジュール

- ▶ 今年度は10月と1月に協議会開催を予定
- ▶ 次回協議会では、将来像および基本方針に基づいた施策の方向性について示す

## ■スケジュール

